DJ-PX31/TX31/RX31 拡張設定について

DJ-PX31、DJ-TX31、DJ-RX31 には、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張設定機能として持たせております。通常の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使わない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるので、敢えて取扱い説明書には記載しておりません。

拡張機能の内容を良くご理解の上で操作していただきたいので、拡張設定方法は本書の最後に記載しています。

1：トーン受信拡張設定

[初期値：OFF]

グループトークでのトーンの判定精度を調整することができます。同じグループトーク番号に設定しているのにスケルチが開かない場合、トーン受信拡張設定を ON に変更することでトーン判定を拡げます。ます。
但し、設定を ON に変更することにより、隣接するグループ番号（トーン周波数）を受けやすくなります。また、受信終了時に「ザッ」音が聞こえてしまいます。

2：マイク AGC 設定 （※DJ-PX31、DJ-TX31 のみ）

[初期値：OFF]

マイクに大きな声が入った場合、通話音声が歪むことがあります。マイク AGC 設定を ON にすることで歪みを緩和することができます。
機種間の相性問題を解決できることがありますが、下手に設定を変えると逆に音が悪くなることもあります

3：テールノイズキャンセル設定

[初期値：ON]

グループトーク機能を入れていなくても、通話終了時に受信側から聞こえるテールノイズ（受信状態から待ち受け状態になるときの「ザッ」というノイズ音）を除去するテールノイズキャンセル機能が入っています。
テールノイズキャンセル機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。この機能が入っていない無線機と通話するとき、この設定を変える必要はありませんがテールノイズは聞こえてしまいます。

4：減電池アラーム設定
[初期値：OFF]

電池残量が少なくなると赤いランプが点滅に加えて、減電池アラーム設定を ON にすることで、30 秒毎に一回「ププッ」というアラーム音を鳴らして電池電圧低下をお知らせします。速やかに乾電池の交換又は充電池の充電を行って下さい。

電池選択設定スイッチ（アルカリ乾電池/ニッケル水素充電池）の設定が適切で無い場合正しく動作しませんのでご注意ください。

[拡張設定方法]

① 電源を切ります。（イヤホンマイク又はイヤホンを接続して音が聞こえる状態にします。送信ボタンは送信しない状態）
② △/▽（アップ/ダウン）キー両方を同時に押したまま、電源を入れます。
③ 電源スイッチを ON にしたら、すぐに、△/▽（アップ/ダウン）キーを離して、各項目の「設定コマンド」を 3 秒以内に入力します。（複数項目を変更時は、①②③の操作を繰り返し行います。）

・設定が OFF のときに「設定コマンド」を入力すると、緑ランプが点灯し「ピッ」というビープ音が鳴り、設定が ON に切り替わります。

・設定が ON のときに「設定コマンド」を入力すると、オレンジランプが点灯し「プー」というビープ音が鳴り、設定が OFF に切り替わります。

設定項目	初期値	設定コマンド
1：トーン受信拡張設定	OFF	[△] → [△] → [△]
2：マイク AGC 設定　***RX31 を除く**	OFF	[▽] → [▽] → [▽]
3：テールノイズキャンセル設定	ON	[▽] → [△] → [▽]
4：減電池アラーム設定	OFF	[△] → [▽] → [△]

設定状態の確認として、拡張設定のどれかの項目が初期値から変更されている場合、電源を入れてから 1 秒間オレンジランプが点灯します。その後、通常時の赤ランプ点灯に戻ります。

設定状態がわからなくなったときは・・・
リセット（初期化）してください。
① 電源を切ります。
② △/▽（アップ/ダウン）キー両方を同時に押したまま、電源を入れ、緑のランプが点灯するまで（約 10 秒）、そのままキーを押し続けます。
③ 緑ランプが点灯してから△/▽（アップ/ダウン）キーを離すと、拡張設定が初期化され再起動します。

以上